

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	145,362	136,716	160,568	0
事業費計		(千円)	145,362	136,716	160,568	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.70	0.70		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,975	4,940		
事業コスト		(千円)	150,337	141,656		

R01年度当初積算根拠	配水場等施設維持管理	67,655千円
	・電気設備点検	23,500千円
	・電気計装設備点検	15,300千円
	・自家発電設備点検	6,930千円
	・機械設備点検	5,190千円
	・浄配水地等清掃	4,050千円 等
	配水場等運転管理	79,655千円
	・運転操作監視業務	18,392千円
	・保全管理業務	11,004千円
	・水道技術管理業務	8,144千円 等

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	680 水質検査事業							
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部水道監視センター		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定事務		
予算科目	AA-010201-02	営業費用 配水及び給水費（共同水質			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画	つくば市水道水質検査計画			<input type="checkbox"/> 実行		<input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令	水道法、水道法施行規則及び水質基準に関する省令				事業体制	全て委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
水道利用者が安心して飲用できるよう、常に安全で良好な水質であることを確認する。				<ul style="list-style-type: none"> 水道法及び水道法施行規則の規定に基づく項目、頻度等により水質検査を実施することで、水道水が水質基準に適合していることを確認する。 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成するため、取り組む。 				<ul style="list-style-type: none"> 水道法に基づき、省略不可能項目（7検体×11回）、3ヶ月毎項目検査（7検体×3回）、塩素酸（7検体×11回）、臭気原因物質（7検体×4回）、全項目検査（7箇所×1回）を実施し、安心安全な水道水を供給した。 				
成果				課題				
水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、その検査結果が水道水質基準を超過したことはなく、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成した。								
改善目標（R01年度にむけて）								
指標の推移								
1	指標名	検査実績 (回)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	0.0	12.0
	実績	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	0.0	0.0
	指標の概要	水道水が水質基準に適合していること。						
2	指標名	()					()	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	4,440	4,438	5,046	0
事業費計		(千円)	4,440	4,438	5,046	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.70	0.70		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,975	4,940		
事業コスト		(千円)	9,415	9,378		

R01 年度 当初 積算 根拠	茨城県水道水質共同検査により水質検査を実施					
	・省略不可能項目検査	(7検体×11回)	420千円			
	・3ヶ月毎項目検査	(7検体×3回)	1,946千円			
	・塩素酸	(7検体×11回)	420千円			
	・臭気原因物質	(7検体×4回)	458千円			
	・全項目検査	(7検体×1回)	1,374千円			
	・臨時検査	(1検体×2回)	393千円			
	・鉛検査	(10検体×1回)	33千円	等		

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	- 法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか	

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	681 配水場内施設修繕工事業								
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部水道監視センター			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	AA-010201-04	営業費用 配水及び給水費（配水場修			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行			
						<input type="checkbox"/> 評価・検証			
根拠法令					事業体制	全て委託			
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
配水場等施設の適切な運転及び維持管理を実施し、お客様である水道使用者に安心してご利用いただける安全な水道水を常に安定的に供給する。					・配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施する。				
評価									
事業計画					活動実績				
・配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施する。					<ul style="list-style-type: none"> 中央配水場次亜塩素注入機修繕工事 名古屋配水場電気設備修繕工事 検水用水栓配管引き直し修繕工事 山口第2給水所ポンプ修繕工事 中央配水場VCB遮断器修繕工事 中央配水場配水ポンプコントローラ修繕工事 葛城配水場汚水ポンプ修繕工事 				
成果					課題				
修繕体制を整え維持してきたことで、配水場等の設備機器の故障や異常発生時に、速やかな修繕を実施し、安定的な水道水の供給が行えた。					配水場等の水道施設数が多く、経年劣化が進行していることから、設備機器の故障が今後増加することが予想される。水道事業者として常に良質で安定的な水道水の供給を行う必要があるため、定期計画的な機器の点検に基づく施設の更新整備等が課題である。				
改善目標（R01年度にむけて）									
各施設の重要度・能力・機能等を精査しながら、安定給水に必要な修繕工事を実施すると共に、施設更新に向けた検討を行う。									
指標の推移									
1	指標名	修繕実績 (件)						活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	10.0	10.0	9.0	9.0	7.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	5,588	9,720	9,810	0
事業費計		(千円)	5,588	9,720	9,810	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,265	4,235		
事業コスト		(千円)	9,853	13,955		

R01 年度当初積算根拠	年度ごとに修繕件数及び規模に差があり、算定が困難であるため、過去の実績を参考にした。 概ね1,000千円/件×10件と想定					
-----------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	